

## 研究会レポート

## 防災研究会(北海道技術士センター)

### — '98 帯広防災コミュニティー「防災シンポジウム」への参加 —

去る1月16日、帯広市が主催した一般市民向けの、地震災害に関するシンポジウムに参加したので報告します。

皆さんもご存知のとおり、道東地域(帯広・釧路・根室)は北海道の中で最も地震の影響を受けやすく、過去に何度も被害が発生しています。このような地震環境の中、道東の中核都市として近年発展の注目される帯広市は、阪神淡路大震災に学び、都市災害に備えるため、市民の防災意識の啓発・防災関係機関との連携強化を目的としたイベントを開催しています。

この企画は今年で2回目になりますが、今回、帯

広市総務部の岡田氏より、当研究会に協力要請を頂き、私たちの参加が実現したものです。岡田氏は、平成8年10月に釧路で行った、「地方公共団体職員と技術士との合同セミナー」において、パネリストとして参加して頂いており、以来お付き合いが続いております。

- 1) 開催日時：1998年1月16日(金)
  - ① 道東6市防災対策研修会 … 10:00~12:00
  - ② 防災シンポジウム … 13:00~16:10
- 2) 開催場所：とかちプラザ レインボーホール(帯広駅南口)
- 3) 主催：帯広市

- 4) 後援：(社)日本技術士会北海道支部
- 5) 協力：(株)帯広シティーケーブル
- 6) 主旨：メインテーマは

「被災想定～大地震被害の具体像を知る」

一般市民向けのシンポジウムとして、十勝地方において阪神淡路大震災のような大規模な災害を想定した場合、行政・市民の対応として、それぞれ何が求められるのかを考えました。

基調講演：岡田成幸（北海道大学工学部助教授）

「わが身とわが町・わが国をまもるために」

#### 7) 内容

##### ① 道東6市防災対策研修会

平成8年に防災協定を締結した道東6市（帯広、釧路、根室、網走、北見、紋別）の、防災対策の一層の充実と強化を図るために行われました。防災研究会のメンバーは、地震防災の専門アドバイザーとして参加し、「27 提言」の紹介と防災行政への助言等を行いました。

##### ② 防災シンポジウム

防災研究会の3専門部会（情報、地盤、都市）からパネリストを派遣し、十勝地方の地域性を踏まえ

た話題提供を行い、北大の岡田助教授、帯広の市民代表も交え、地震災害に対する地方自治体と住民のそれぞれの対応方法・心構え・役割等についてディスカッションを行いました。

#### 8) 参加メンバー

- 大島 紀房：副会長
- 高橋 輝明：地盤系部会長
- 北 健治：地盤系（パネリスト）
- 奈良 義明：情報系（パネリスト）
- 太田 清澄：都市系（パネリスト）
- 木村 和之：交通系幹事

当日の様子は地元のケーブルTVが放映しており、会場に足を運べなかった市民にも問題点を共有してもらい、防災意識の高揚にも役立つものであったと思います。なお、収録ビデオがありますので、ご希望の方にはお貸しいたします。木村まで連絡を（Tel. 780-2816 構研エンジニアリング橋梁第1部）。

（文責：木村和之）



北大工学部の岡田成幸助教授が基調講演



防災研究会から三名のコメントーターが参加した